

令和6年度 川内公民館高齢者学級 第3回「沖縄三線と伝統芸能の世界」



中嶋先生

三線は、沖縄と奄美で使われているもので、胴の素材がニシキヘビを使っているのが特徴です。

沖縄三線は、8・8・8・6で構成されている琉歌（和歌の沖縄版のようなもの）を歌い、沖縄音楽用楽譜の工工四（くんくんしー）を用いて演奏するそうです。安里屋ユンタを含め3曲を中嶋先生に演奏していただきました。学級生の皆さんも先生の素晴らしい歌声と音色につられて一緒に口ずさんでいました。



令和 6年 7月 4日

川内公民館 集会室

講師：中嶋 一仁 先生

川内公民館高齢者学級の第3回講座は、県の「出前なんでも講座」沖縄三線と伝統芸能の世界ということで、三線の詳細や先生の体験談等を三線の演奏を交えながら詳しく説明していただきました。

各部の名称



三線の各部の名称